

日本企業振興協同組合から組合員の皆様へ、お役立ち情報や研修のご案内などをお知らせいたします。

## TOPICS

# 外国人の出入国に関するトピックス

## 令和4年における外国人入国者数及び日本人出国者数等について(速報値)

- 外国人入国者数は約420万人で、前年に比べ約384万人増加
- 外国人新規入国者数は約342万人で、前年に比べ約327万人増加
- 特例上陸許可(寄港地上陸許可等)を受けた外国人の数は約48万人で、前年に比べ約6万人増加
- 外国人入国者数と特例上陸許可を受けた外国人の数を合計した外国人入国者等の総数は約468万人で、前年に比べ約391万人増加
- 日本人出国者数は約277万人で、前年に比べ約226万人増加

### 【外国人入国者数】

国籍・地域別の新規入国者数は、(1)韓国(約95万人、対前年増減率約1万7,222.6%増)が最も多く、次いで、(2)台湾(約32万人、同約1万6,451.5%増)、(3)米国(約30万人、同約2,118.4%増)の順となっています。在留資格別の新規入国者数は、(1)「短期滞在」(約286

万人、対前年増減率約3,887.3%増)が最も多く、全体の約83.6%を占め、次いで、(2)「留学」(約17万人、同約1,334.5%増)、(3)「技能実習1号口」(約16万人、同約648.4%増)の順となっています。

### 【新型コロナウイルス感染症拡大の影響】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、出入国管理及び難民認定法第5条第1項第14号の適用(入国拒否対象地域の指定)を始めとした水際対策が開始された令和2年2月1日以降、外国人新規入国者数は大幅な減少に転じたところ、令和4年3月以降、外国人の新規入国制限の見直しを始めとする水際対策の段階的な緩和などにより、令和4年における外国人新規入国者数は約342万人となり、前年に比べ約327万人(約2,156.4%)増加したものの、新型コロナウイルス感染症拡大前である令和元年と比べると、約2,498万人(約87.9%)減少しました。

令和5年1月27日付 出入国在留管理庁 プレス発表より抜粋

## MEMO

# ビジネスひとロメモ

## 成功循環モデル

成功循環モデルでは、組織を4つの質で捉えます。周囲との関わり方やコミュニケーションといった「関係の質」が高くなると、自然と考え方も前向きになり、目的意識が高まって「思考の質」が上がります。それが積極性や主体性といった「行動の質」を高め、成果が生まれて「結果の質」につながります。

すると、ますます関係の質が高くなる、といった循環を指しています。組織としての「結果の質」を高めるには、遠回りに思えても、組織に属するメンバー同士の「関係の質」をまずは高めることが大切だとされています。



## INFO

# ご案内

## 研修のご案内



組合員企業様や外国人就業者に向けた、各種研修・勉強会を計画してまいります。オンライン、動画閲覧、対面など様々な手段でお届けする予定です。このニュースレターや組合ホームページ等でご案内いたします。外国人就業者(技能実習生・特定技能等)の研修参加につきましても、ご協力をお願いいたします。